

橋下徹大阪市長の発言に抗議し撤回を求める声明

橋下徹大阪市長（日本維新の会共同代表）は、今月13日、旧日本軍「慰安婦」問題について、「慰安婦制度というものが必要なのは誰だってわかる」として慰安婦制度そのものを正当化する発言をし、沖縄県に駐留する海兵隊の司令官に対し「もっと風俗業を活用してほしい」と求めたことを明らかにしました。以前から橋下氏は「強制連行のような事実はなかった」などの発言を重ねて批判を受けてきましたが、今回の発言は慰安婦制度の「必要性」を説くところまで踏み込んでいます。

橋下氏の発言は、“戦争下では兵士は性衝動を抑制できなくて当然”であり“女性がそのはけ口とされて良い”との認識の表れであり、人間の尊厳と女性の人権を著しく侵害し、国内外の多くの方の心を傷つけました。同時に、「慰安婦」の存在と慰安所の設置についての日本軍の関与を認めた1993年の「河野談話」を否定しようとするものであることも重大です。

公党の代表、自治体の首長として発言が持つ意味は極めて重く断じて看過できません。有権者を代表し議会活動するものとして、強く抗議し、発言の撤回と謝罪を求めます。

2013年5月24日

日本共産党福島県議会議員団

団長 神山悦子

副団長 宮川えみ子

同 阿部裕美子

幹事長 宮本しづえ

政調会長 長谷部 淳